

準優勝の大根レディース



大根レディース準優勝

前半序盤は、徹底的に鍛えられたドリブルで攻め込みペースをつかんだ大根レディースだったが、決定力の高さをみせる江南南の前に力尽きた。

それでも、チーム最高位となる準優勝。初日の予選リーグから個人技の強さを武器にフラインガルの舞台まで登り詰めた。

山口剛監督は「先制して行けるかなとも思いましたが、勝ちたい気持ちの方が上回っていたような気がします。それ

でも、ドリブルで相手の守備を崩し通用するところもありました」と2日間、さまざまタイプのチームと対戦し大きな収穫も得たようだった。

先制のPKを決めた田村勇人君は「落ち着いて決めることができずうれしかった」とニコニコ。最終線で果敢にゴールを指したF.W.榎澤琢太キャプテンは「優勝はできなかったけれど、中盤からドリブルを生かしてチャンスも作る事ができた」と胸を張った。

写真お分けします

みんなのスポーツで掲載された写真をお分けします。バックナンバーの問い合わせも東京新聞お客さまセンターまで(日・祝は休み)。

03(6910)2557 FAX 03(3580)7277

みんなのスポーツHPからもOK

第30回たましん杯羽衣一SC招待6年生サッカー大会(羽衣一SC主催、東京中日スポーツなど後援)が9、10の両日、東京都立川市の多摩川グラウンドなどで行われた。大会を運営する羽衣一と交流がある関東、東海、北陸地方から計30チームが10グループに分かれた予選リーグと、リーグ戦の順位(上位)はトーナメント、下位はリーグ戦で対戦。江南南サッカー少年団(埼玉)が決勝で大根レディース(神奈川)を逆転で下し初優勝。3位決定戦はサイタマジュニアFC(埼玉)

学童サッカー

◆羽衣招待
6年生大会



▽3位決定戦
サイタマ3 (1-0) 調布イジュニア (2-0) グルースFC

▽決勝
江南南サ4 (3-1) 大根レディースサ1 (1-0) イッシュユ年団

【得点者】アピッチ大翔2、高橋維月、西方楓稀(江)、田村勇人(大)

◎優勝した江南南サッカー少年団◎ MVPに輝いた江南南のアピッチ君◎ (すべて石井智昭撮影)

江南南が逆転初優勝



玉が調布イグルスを(調布)を退け入賞した。(石井智昭)

高橋君が逆転弾

江南南サッカー少年団が鮮やかな逆転劇を演じた。初日の予選リーグも初優勝。卒団も近づくなか、苦業を共にしてきた仲間たちと最高の結果を

前半はスピードに乗ったドリブルで攻め込み大根レディースにPKから1点を許したが、今夏の全日本少年フットサル大会にも出場した強豪が底力をみせつけた。

前半9分、ゴール前に詰めていたアピッチ大翔

この日、采配を振った塚越邦紀監督は「この優勝で選手たちが自信を持ってこれれば」と目尻を下げた。

決勝の2ゴールを含め今大会7得点の活躍で最優秀選手に選ばれたアピッチ君は「このメンバーで大会に出るのもあと少しなので、絶対に優勝したい」と思っている。

3発快勝!!満足3位
サイタマジュニア

前半立ち上がりから主導権を握ったサイタマジュニアFC=写真=が3発快勝。前半11分、橋本彩



君がルースボールを突き刺し同点に追いつくと、同15分には、左からのクロスを高橋維月君が押し込んだ。

「狙い通りに決められたことができてうれしかった」と高橋君。こん身の逆転ゴールで流れをたぐり寄せると、終盤の19分には、再びアピッチ君がゴール正面から右隅に決め3点目。後半終了間際には、高橋君からの右クロスをフアーサイドに走り込んだ西方楓稀君が押し込み試合を決めた。

守備の要としてチームをけん引した鈴木聖梧キャプテンは「失点後もチームみんなが落ち着いてプレーできました」。ワールドカップにも負けない光り輝くトロフィーを手に満面の笑みを浮かべていた。

▽1位トーナメント
①江南南サッカー少年団②大根レディース③サイタマジュニアFC④調布イグルス⑤西原少年SC、西砂青少年SC⑥青梅2FC、立川九小SC

▽2位トーナメント
①杉並シスターズ②GRATADIO FC③JSC T OYAMA④国立2小SCフエリシター⑤羽衣一SC・A、はらきSC⑥ECFC UJIMINO、大沢FC

▽3位トーナメント
①FC VIGORE②ゴールランダー③国立JFC④町田高ヶ坂SC⑤八王子4小SC、北風SC⑥FC NOBIDOME、北山小SC

▽4位リーグ
①府中4BK②羽衣一SC・B③千葉北FC④Mare FC⑤羽村富士見SC⑥スロングボーイズサッカー少年団